

スカパーJSATグループ 2014年度 2Q決算説明会

2014年10月30日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

第2四半期連結決算概要

■ 営業収益は微減、営業利益は大幅増。

(単位:百万円)

	FY2013 2Q 累計	FY2014 2Q 累計	増減率	通期予想 進捗率
営業収益	82,804	82,381	△0.5%	50.4%
営業利益	10,903	12,830	17.7%	71.3%
経常利益	10,881	12,761	17.3%	72.9%
四半期純利益	6,527	10,056	54.1%	83.8%
EBITDA (*1)	23,797	25,212	5.9%	-

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 支払利息 + 減価償却費

有料多チャンネル事業の主要指標(*)

	FY2013 2Q 累計	FY2014 2Q 累計	通期目標
新規加入件数(万件)	24.3	19.1	56.9
純増数(万件)	△5.4	△27.4	△16.0
累計加入件数(万件)	377.5	344.2	355.7
加入者月額支払単価(¥)	3,194	3,311	-
ARPU(¥)	1,964	2,214	-
SAC 単価(¥)	31,388	34,346	-

* スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値。

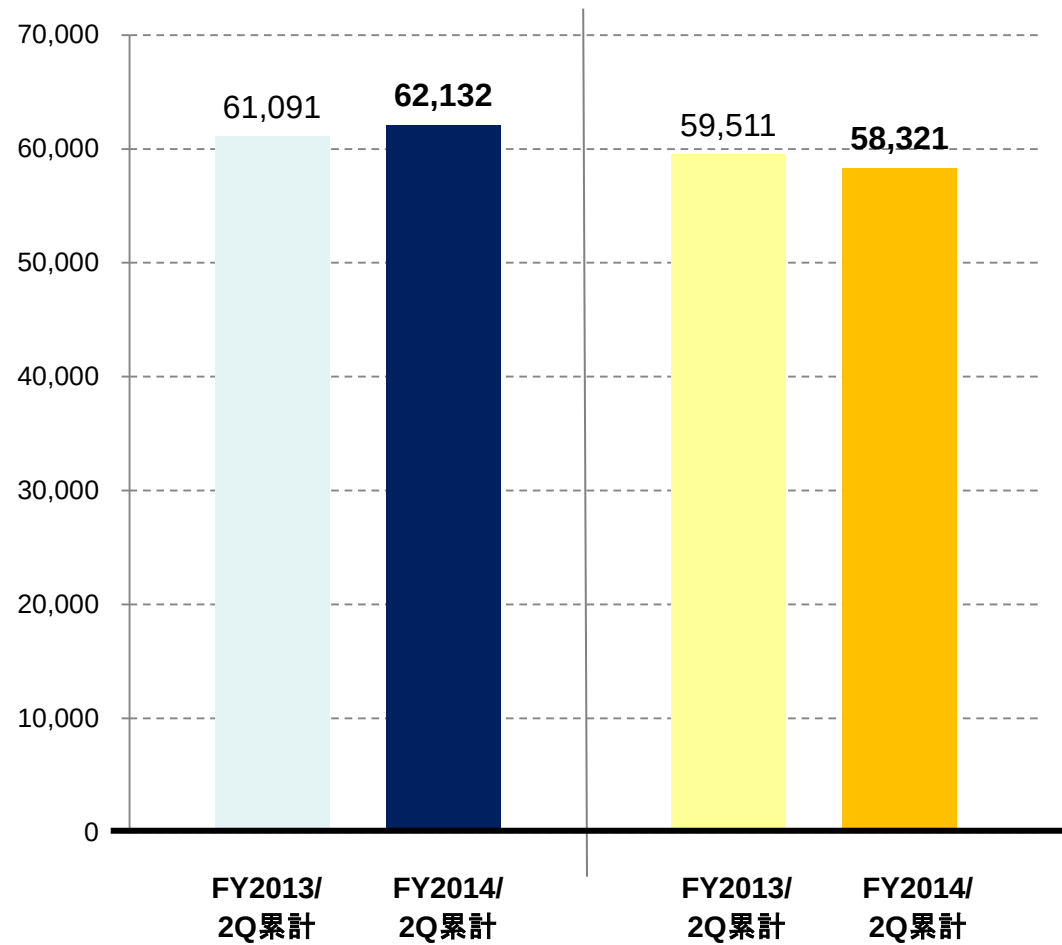
有料多チャンネル事業の業績概況：前年同四半期比

有料多チャンネル事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(+10.4億円)*

＜主な増減要因＞ * セグメント間内部取引を含む。

- ハイビジョンサービス視聴料収入の増加：+49億円
- 業務手数料収入の減少等：▲24億円
 - ・スカパー！（旧e2サービス）手数料収入：+6億円
 - ・標準画質サービスに係わる手数料収入：▲25億円
 - ・その他：▲4億円
- 送信料収入の減少：▲6億円
- 加入料・基本料の減少：▲6億円

営業費用(▲11.9億円)*

＜主な増減要因＞ * セグメント間内部取引を含む。

- 番組供給料の増加：+22億円
- ハイビジョンサービスへの移行にかかるチューナー原価の減少：▲12億円
- リース料の減少：▲8億円

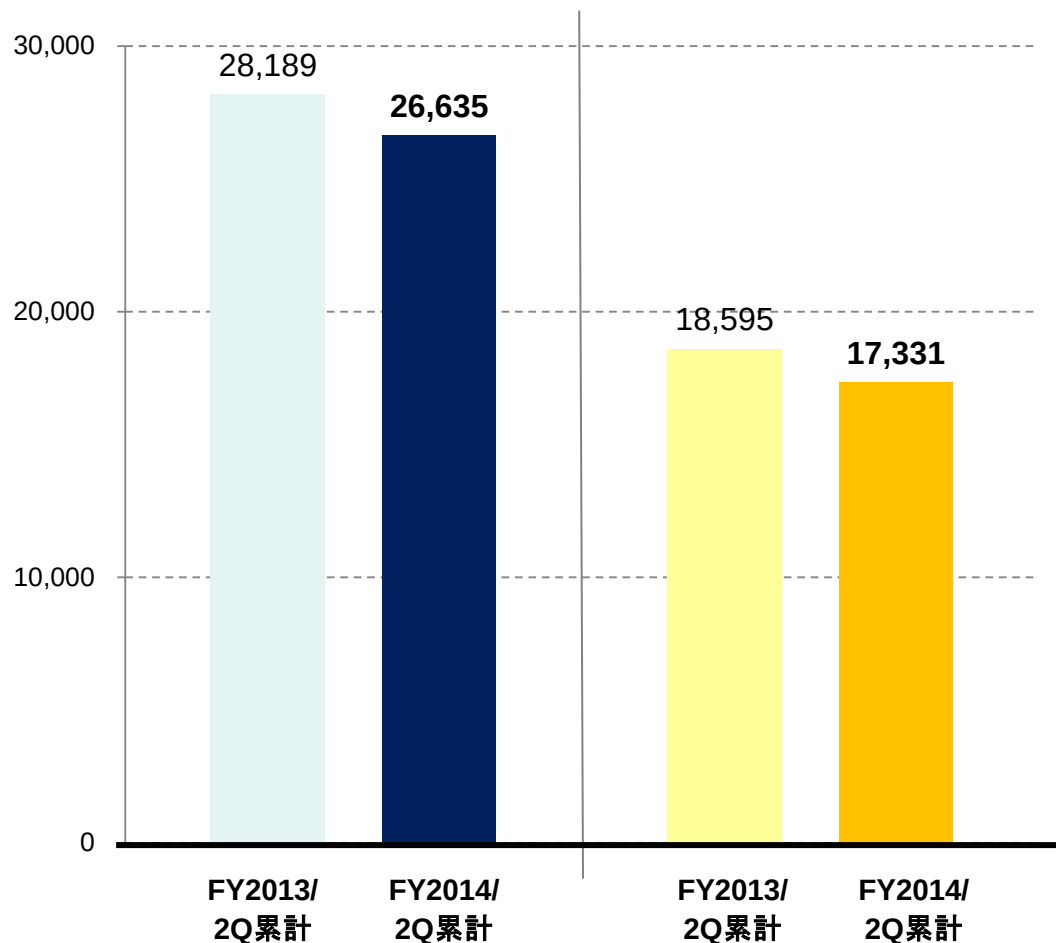
宇宙・衛星事業の業績概況：前年同四半期比

宇宙・衛星事業

(単位：百万円)

営業収益

営業費用



営業収益(▲15.5億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 国際サービス収入の増加：+7億円
- ハイビジョンサービス向け放送トラポン収入の増加：+8億円
- 標準画質向け放送トラポン収入の減少：▲31億円

営業費用(▲12.6億円)*

<主な増減要因>

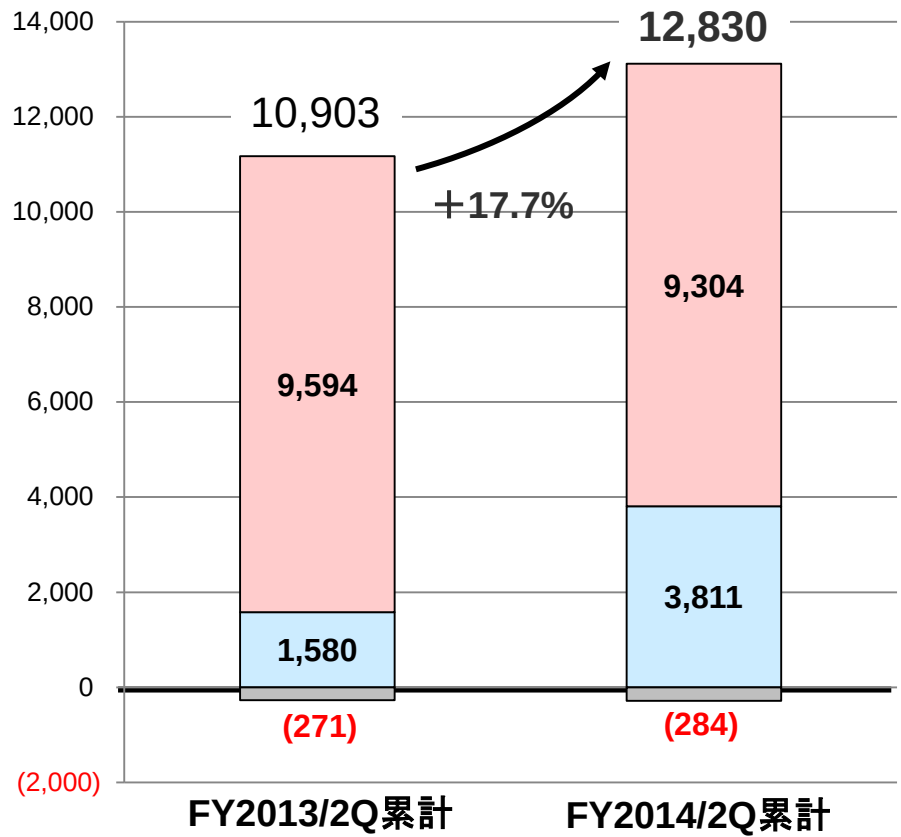
* セグメント間内部取引を含む。

- 衛星減価償却費の減少：▲7億円
- 衛星寿命保険料の減少：▲1億円
- セグメント間取引の減少：▲4億円

利益指標

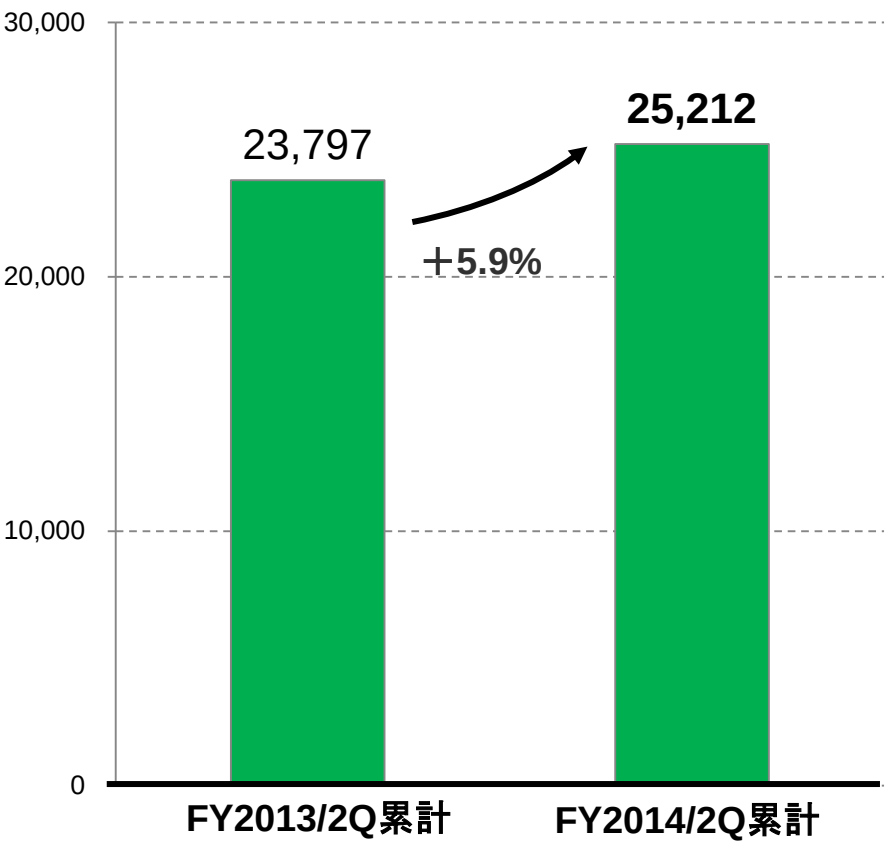
連結営業利益

(単位: 百万円)



EBITDA

(単位: 百万円)



有料多チャンネル事業 宇宙・衛星事業 消去又は全社

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

上期実績のレビュー

■ サマリー

- スカパー！ : 前年同期比で、新規加入は減少、解約率は改善。純増を維持。
- プレミアムサービス : MPEG2終了による5月末約25万件の解約処理実施により大幅純減。
- プレミアムサービス光 : 純減幅が縮小。前年度はMPEG2終了による解約処理で解約増加。

■ 加入件数について

上期累計	新規加入件数	純増数	累計加入件数
スカパー！	165,583	19,068	2,074,640
プレミアムサービス	21,086	－292,134	1,278,753
プレミアムサービス光	4,739	－1,094	89,051
3サービス合計	191,408	－274,160	3,442,444

■ ARPUの増加

2013年上期	2014年上期
1,964円	2,214円

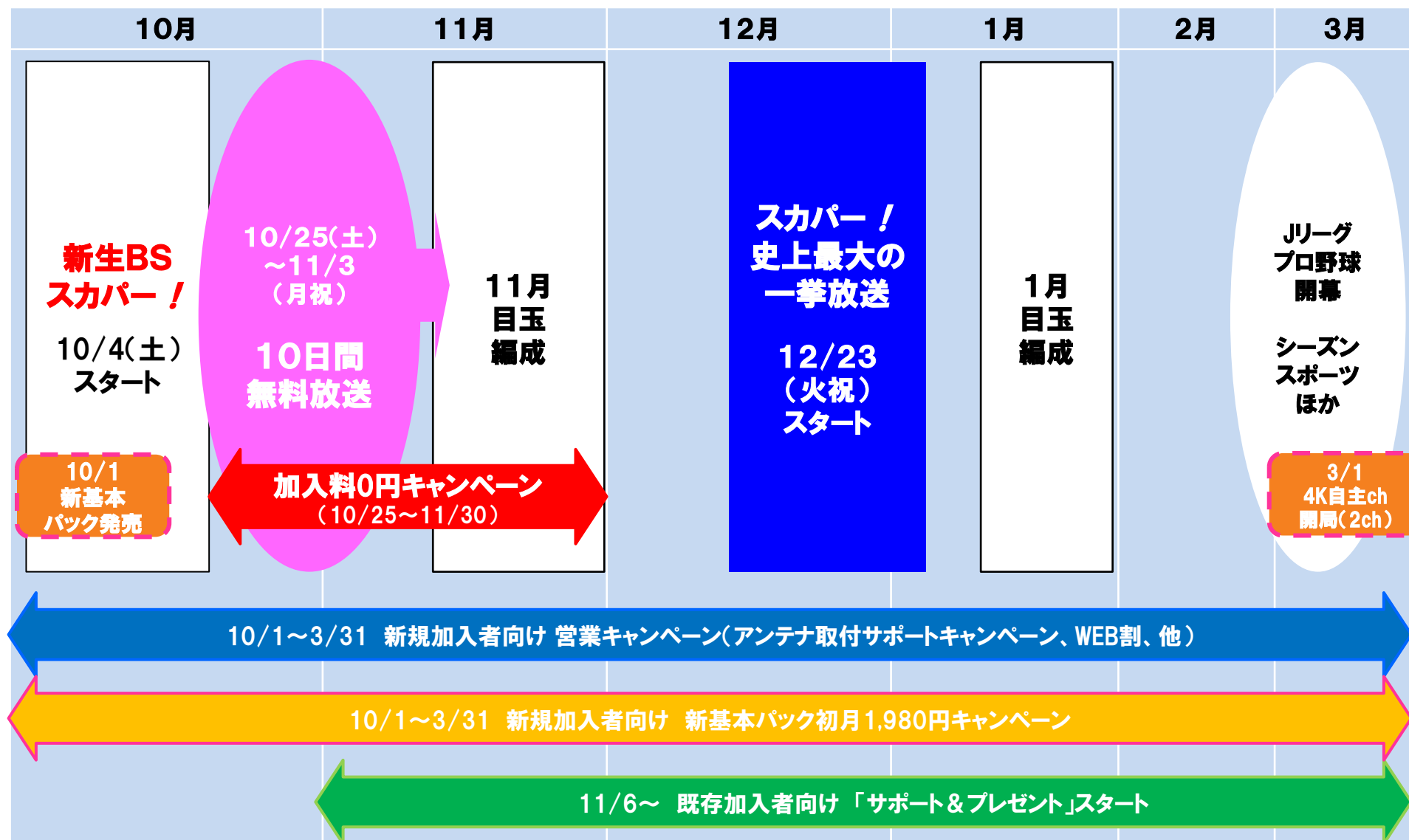
12.7%上昇

ARPU増加の主な要因

- 「セレクト5」導入によって、新規契約における単CH契約率が低下、「基本パック」等の高額商品の契約率は向上。
- MPEG2放送終了によって、基本料のみの加入者が解約。

2014年度下期展開

■「10日間無料放送」「年末年始一挙放送」「スポーツ開幕」を軸に加入最大化を図る



BSスカパー！リニューアル

- 10/4(土)より放送内容をリニューアル。オリジナルコンテンツを充実。
- 毎日21:00~23:00は「BSスカパー！ゴールデンタイム」。
スカパー！オリジナル連続ドラマ「破門」など、強力ラインナップを編成。
- 専門チャンネルを生放送でザッピングして紹介するオリジナル番組「ザップ！」を毎日放送。
有料チャンネルの追加契約促進を図る。

BSスカパー！ゴールデンタイム



第151回 直木賞受賞作品「破門」
連続ドラマ化決定！(12月放送予定)



**SPORTS
LEGEND**

既存番組も
リニューアル！



チャンネル生回転TV ザップ！



オリジナルコンテンツで
加入者数拡大、
チャンネル契約促進を図る

プレミアムサービス加入促進へ向けた取り組み

■10月に全チャンネルハイビジョン化が完了！

＜10月以降の プレミアムサービス新規開局チャンネル＞

□ 地方競馬ナイン（10月開局）

□ ダンスチャンネル by エンタメ〜テレ（10月開局）



■10月に東芝、ソニーより4K対応プレミアムサービスチューナー内蔵機器が発売！

TOSHIBA



リモコンには
「スカパー！プレミアムサービス」
ボタンが搭載

4Kテレビ
「レグザ Z10X」(3機種)

SONY



4Kマルチメディアプレーヤー
「FMP-X7」

SHARP



4Kレコーダー
「TU-UD1000」
※6月発売済み

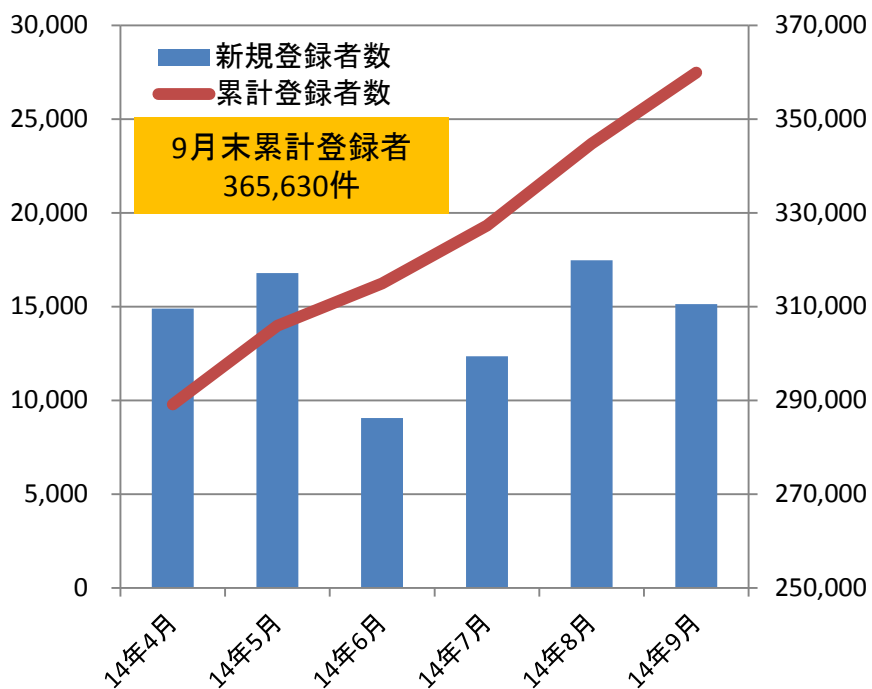
■来春、4K商用チャンネルが2チャンネル同時開局！

- | | | |
|--------------|--|-----------|
| □ 開局予定時期： | スカパー！プレミアムサービス | 2015年3月1日 |
| | スカパー！プレミアムサービス光 | 2015年4月以降 |
| □ チャンネル数： | 2チャンネル ※NexTV-F「Channel 4K」と合わせて3チャンネル | |
| □ 予定放送コンテンツ： | Jリーグを中心としたスポーツ、映画、音楽ライブ、等 | |

スカパー！オンデマンドの進捗

- スカパー！オンデマンド登録者数はサービス開始以降、順調な伸びを記録
- 配信チャンネル数も60チャンネルを突破
- 専門チャンネルアプリが追加され、放送連動サービスでさらなる差別化を図る

スカパー！オンデマンド
登録者数推移



「専門チャンネルアプリ」続々登場！
BSスカパー！オリジナル番組もオンデマンド独占配信！

AXN Plus for スカパー！（9/1～）



AXN ミステリー for スカパー！（9/5～）



イマジカBS for スカパー！（9/1～）



オリジナルコンテンツの配信も！

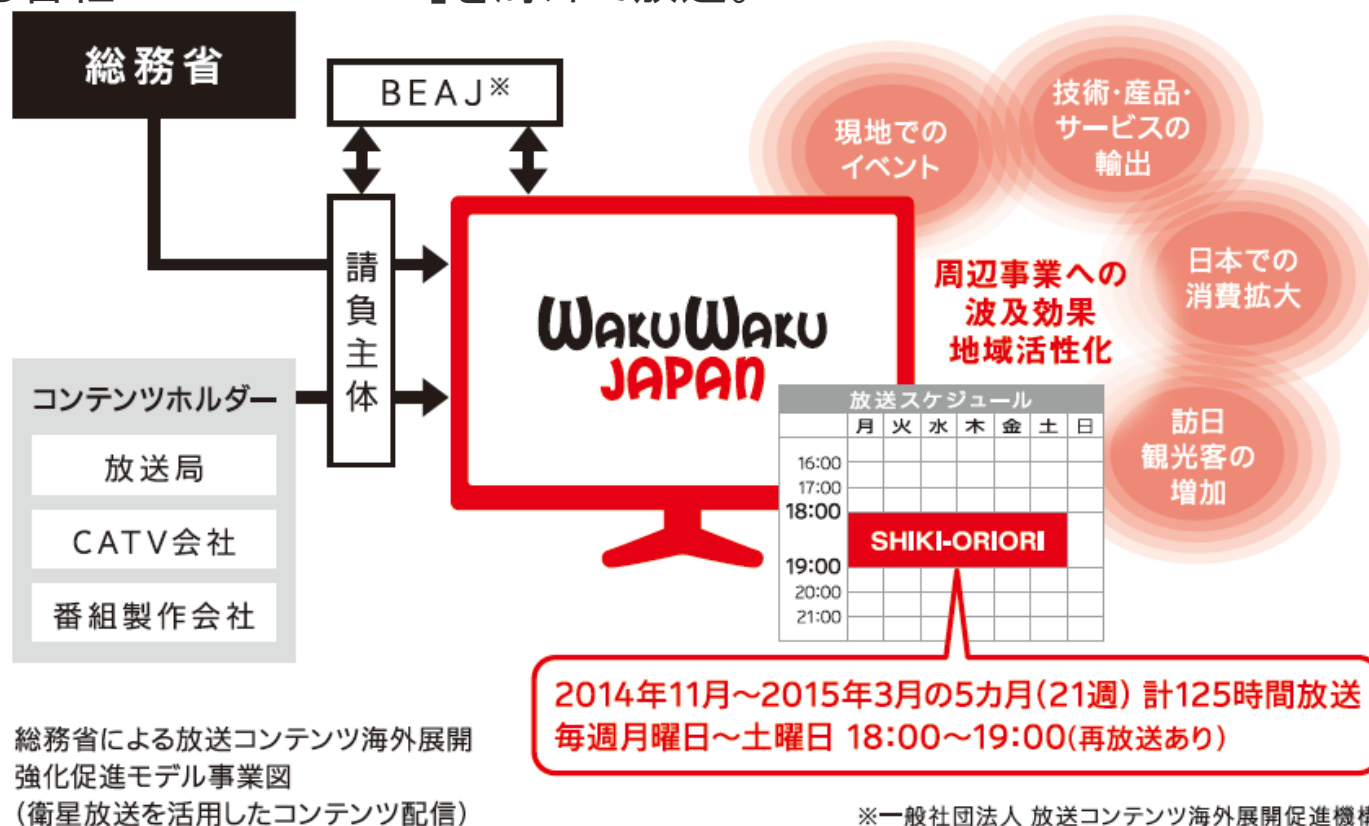
スカパー！×時代劇専門チャンネル
闇の狩人（前・後編）を
放送翌日から見逃し配信



WAKUWAKU JAPANの進捗 1

■ 総務省の放送コンテンツ海外展開強化促進モデル事業に決定

- 日本コンテンツを通じて、海外からの観光客誘致や地域経済活性化を目指す総務省補正予算案件。
- WAKUWAKU JAPANが情報発信のメディアとして選択され、日本各地の魅力を紹介する番組「SHIKI-ORIORI」を海外で放送。



- 第2回視聴状況調査を7月に実施
⇒アニメ／特撮が人気。

ジャンル別視聴状況

	世帯平均接触率	個人平均接触率
アニメ／特撮	9.5%	5.4%
カルチャー	6.8%	4.0%
ドラマ	6.4%	3.6%
音楽	6.1%	4.3%

＜第2回調査概要＞

○調査エリア：インドネシア・ジャカルタ

○調査対象：WAKUWAKU JAPAN視聴環境にある世帯内個人（10歳～49歳）を抽出。世帯220サンプル、個人888サンプル

○調査手法：訪問留置・日記式調査

○実施機関：2014年7月7日～7月20日

○調査会社：株式会社ビデオリサーチ

- 新規コンテンツ（10月以降）

【ドラマ】：「闇の狩人」（11月～）

・・・BSスカパー！と時代劇専門チャンネルが合同で制作

【アニメ】：「ちびまる子ちゃん」（11月～）

【スポーツ】：サッカー国際親善試合「日本対ブラジル」中継（10月）

【音楽】：「Music Japan TV」（11月～）

・・・オリジナル音楽ランキング情報番組

■ 不正視聴に係る民事訴訟の判決

改ざんB-CASカードをインターネット経由で販売したとして有罪判決となった被告に対して、5月に損害賠償請求額3億2,590万9,127円の全額支払いを命じる第一審判決。

■ 不正なB-CASカードに対する輸入差止申立て

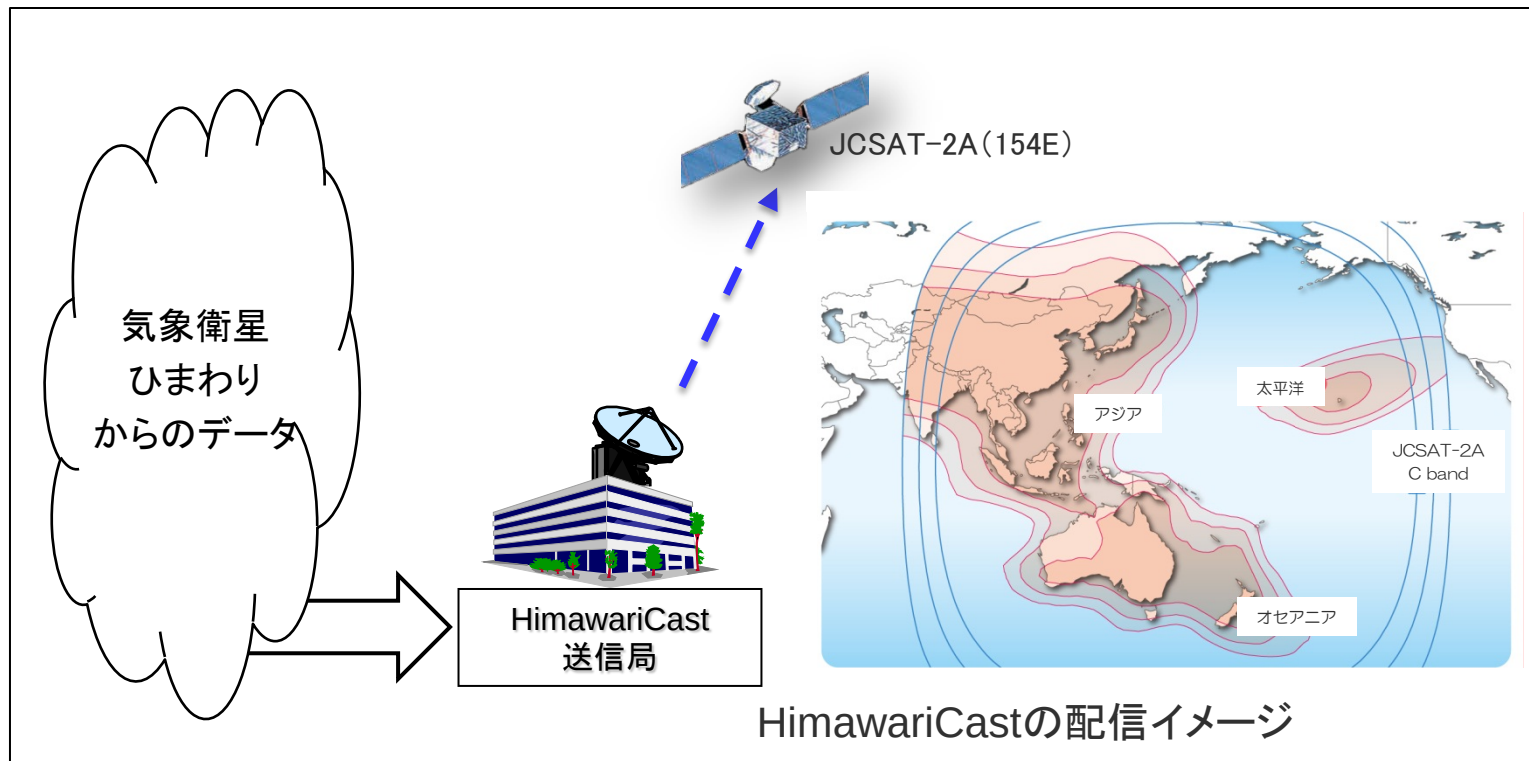
B-CAS社(*)と有料放送事業者が、共同で申し立てていた不正なB-CASカードに対する輸入差止が8月に東京税関に受理され、全国の税関において没収など取締りの対象に追加。

* 株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

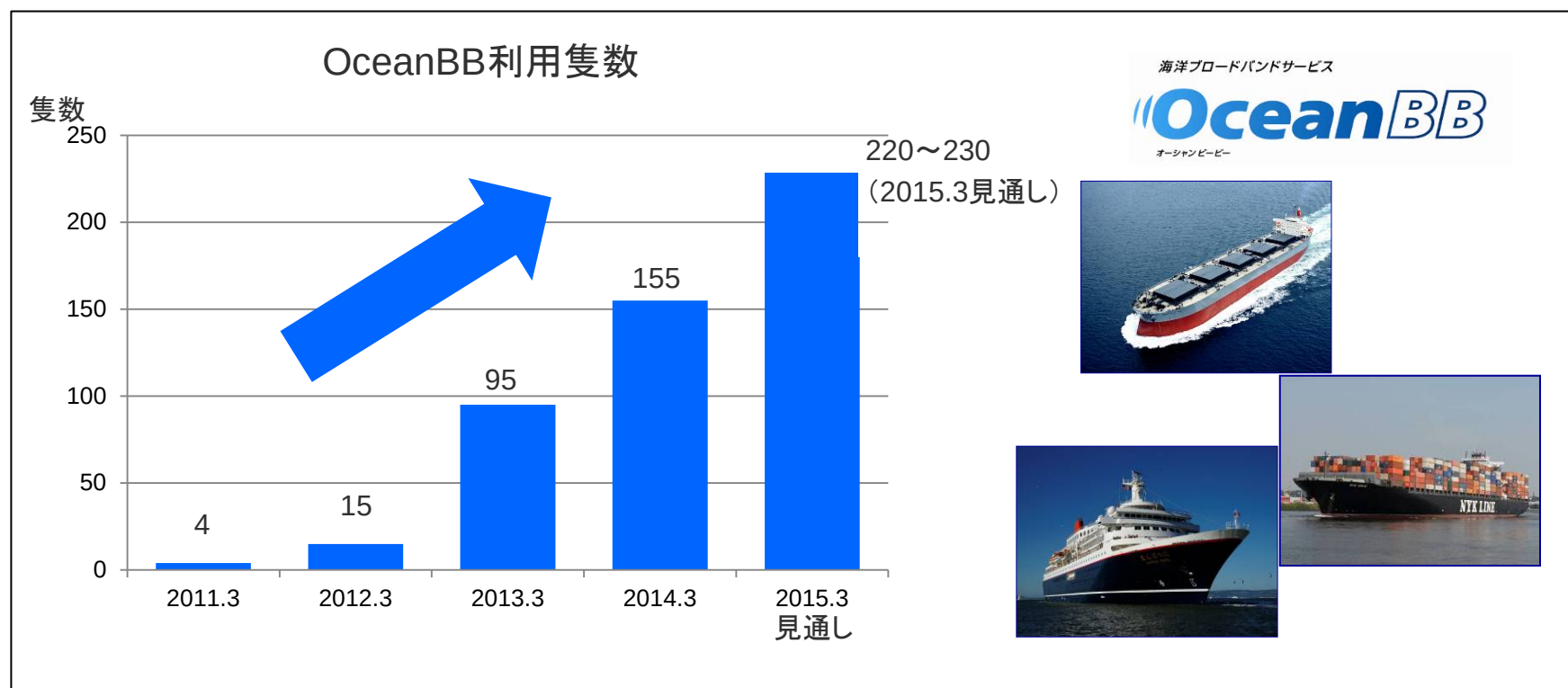
国内市場への取り組み

- 電力会社向けの重要拠点間のバックアップ回線利用が拡大
- アジア・太平洋地域の政府機関等への「ひまわり画像」
配信サービス「HimawariCast」にJCSAT-2A(154E)の利用が決定
(2015年1月運用開始予定)



グローバル・モバイル市場への取り組み

- インドネシアにおけるDTH及び携帯バックホール向け利用は堅調
- 海洋インターネットサービス「OceanBB」が三大海運会社及び中堅海運会社向けに拡大



衛星需要に対する今後の対応

■ JCSAT-15及びJCSAT-16の打上げサービスの契約を締結

- ・JCSAT-15: アリアンスペース社と契約し、アリアン5で打上げ
N-SAT-110後継機として、スカパー！サービスに利用
- ・JCSAT-16: スペースX社と契約し、ファルコン9で打上げ
Kuバンド及びKaバンドの日本ビームを搭載し、軌道上予備衛星として利用

今後の衛星打上げ計画(予定)

・JCSAT-14(JCSAT-2A(154E)後継機)	ファルコン9	2015年度上期
・Superbird-8(Superbird-B2(162E)後継機)	アリアン5	2015年度下期
・JCSAT-15(N-SAT-110(110E)後継機)	アリアン5	2016年度上期
・JCSAT-16(軌道上予備衛星)	ファルコン9	2016年度上期



JCSAT-15: Ariane社CEO Israel氏と調印



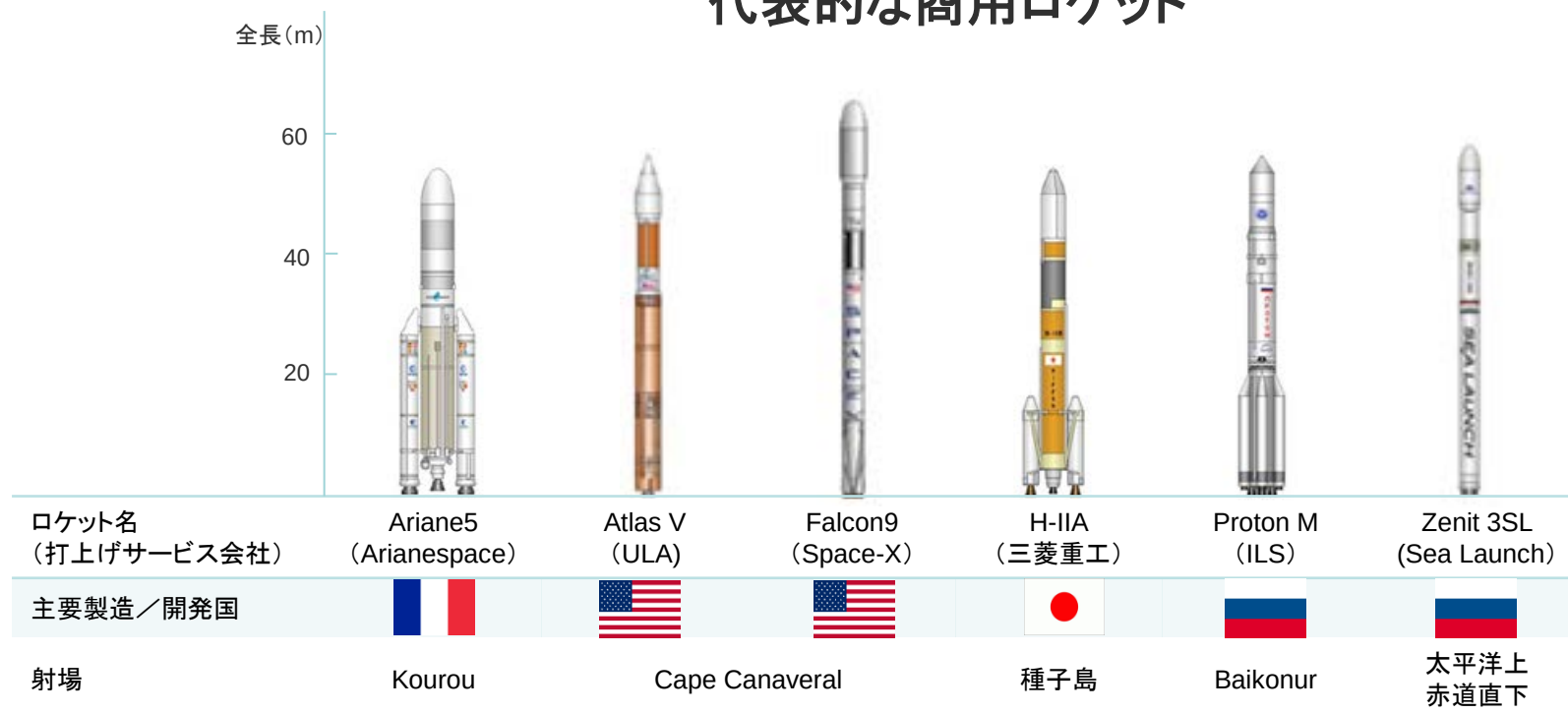
JCSAT-16: Space-X社COO Shotwell氏と調印

衛星打上げサービス

- 年間80機程度の打上げ、そのうち商用衛星はおよそ20%
- 打上げは衛星事業において最もリスクが高いイベント

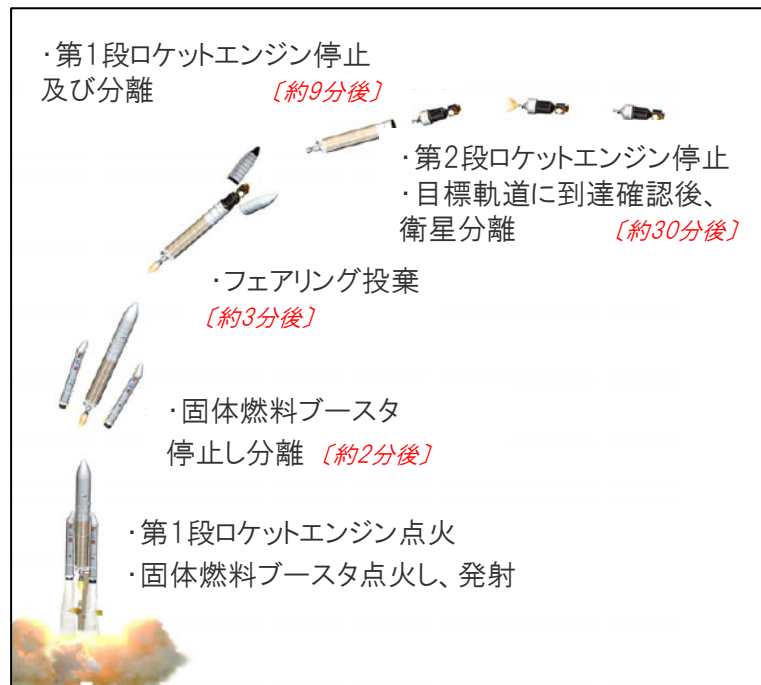
衛星、打上げサービスごとに、信頼性、性能、納期、実績、調達価格等、様々な要素を踏まえて選定

代表的な商用ロケット

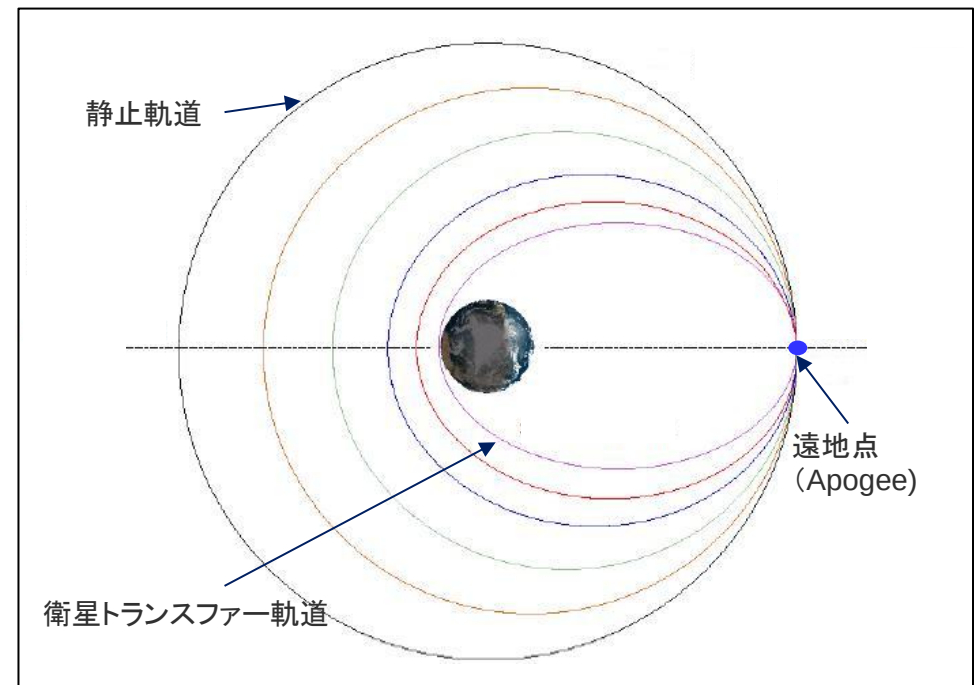


静止軌道への投入例(アリアン5の場合)

- 第1段ロケットエンジン点火から約30分で近地点高度250km 遠地点高度36,000kmの衛星トランスファー軌道へ投入
- 遠地点で衛星に搭載しているエンジンを複数回噴射させ、打上げから1週間～2週間で静止軌道へ投入
- 静止軌道投入後およそ2ヶ月で軌道上確認試験を実施し運用開始



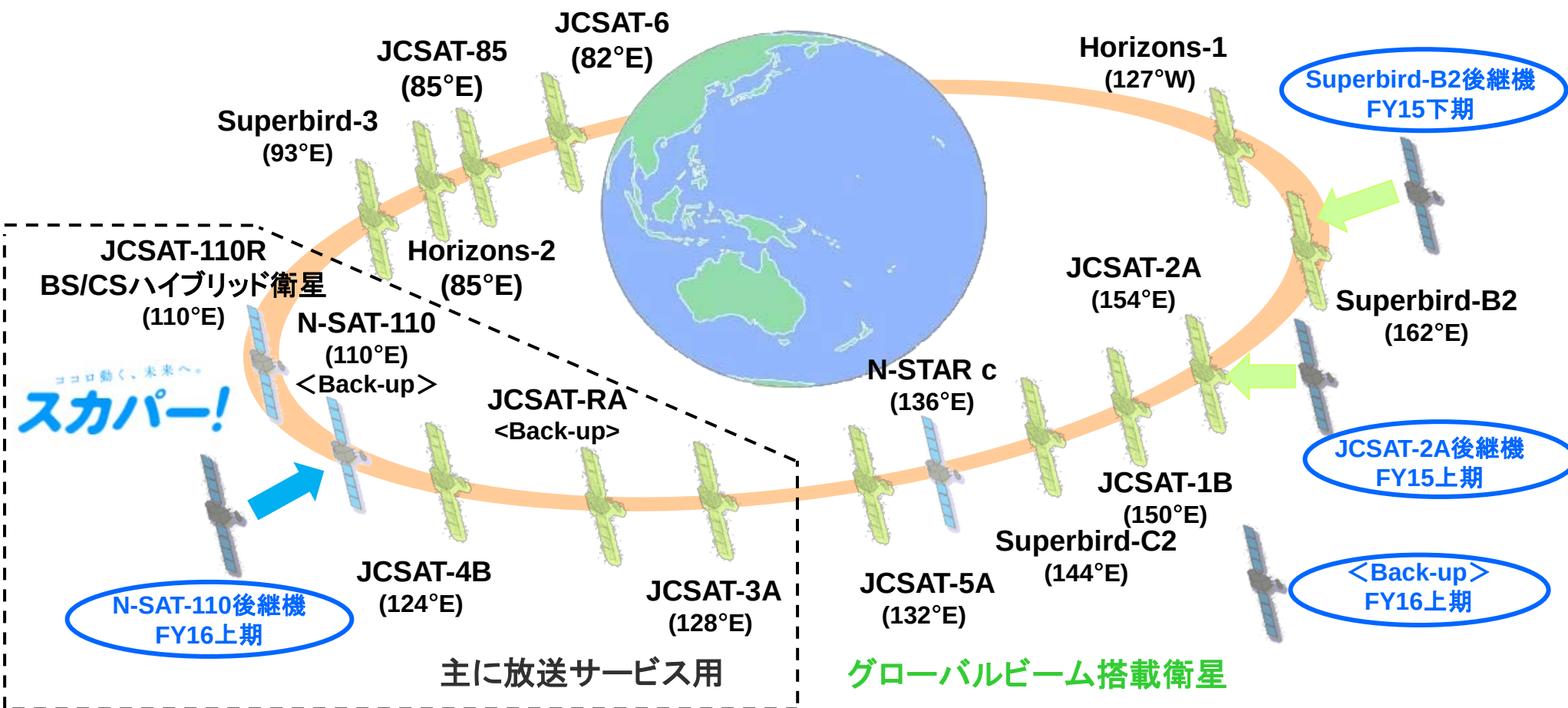
ロケットの打上げシーケンス



衛星トランスファー軌道

北米上空からインド洋上空まで計16機の衛星を保有

2016年度上期までに、新たに4機の衛星を打ち上げ予定

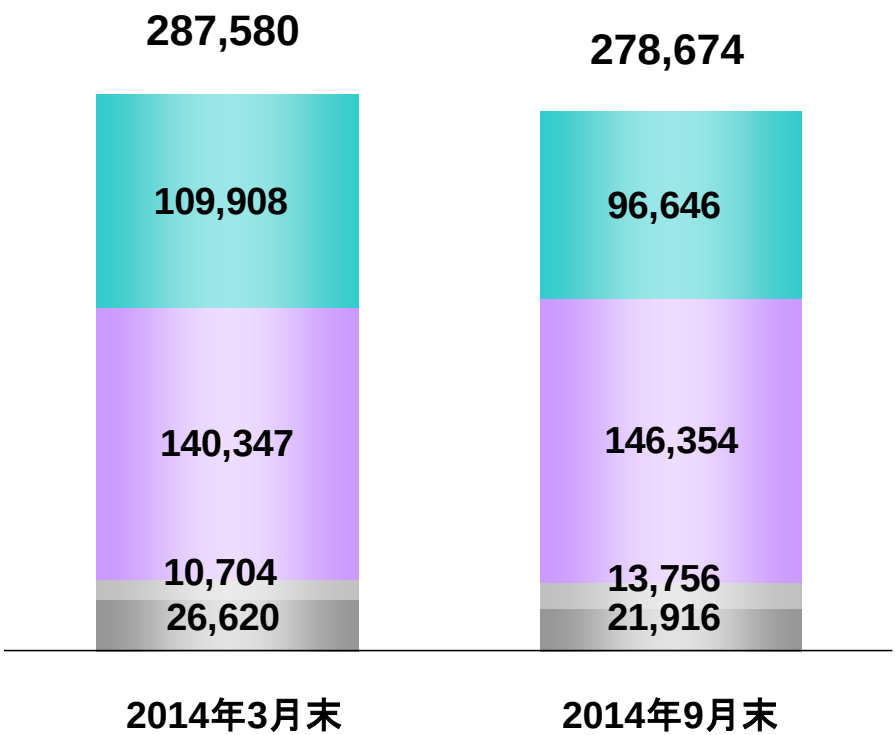


(参考資料)

連結貸借対照表

資 産

(単位: 百万円)

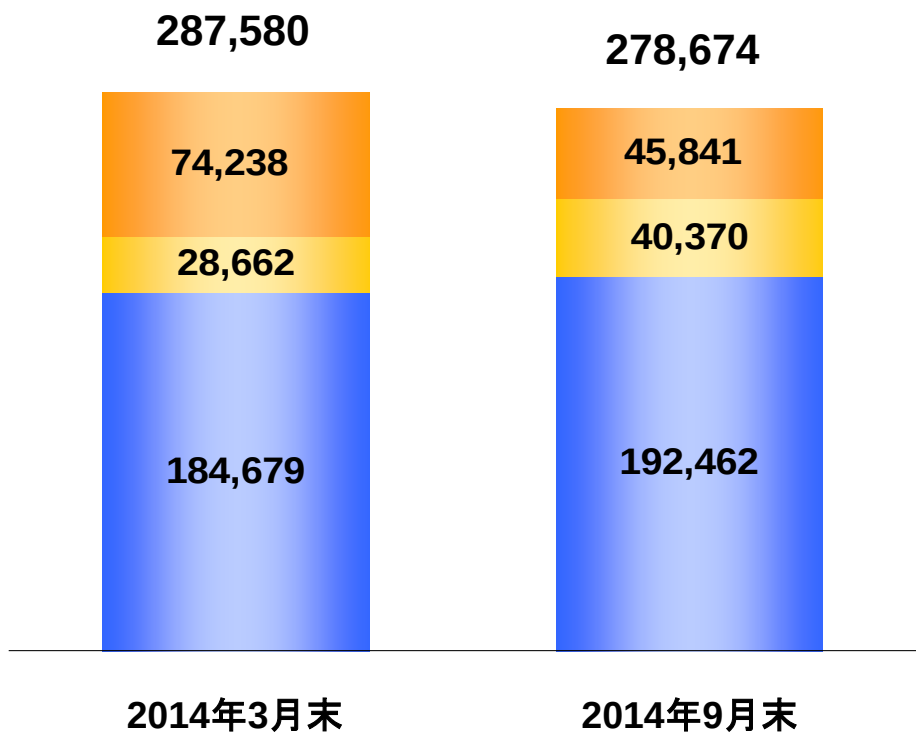


負債・純資産

(単位: 百万円)

自己資本比率: 64.1%

自己資本比率: 69.0%



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産 流動負債 固定負債 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

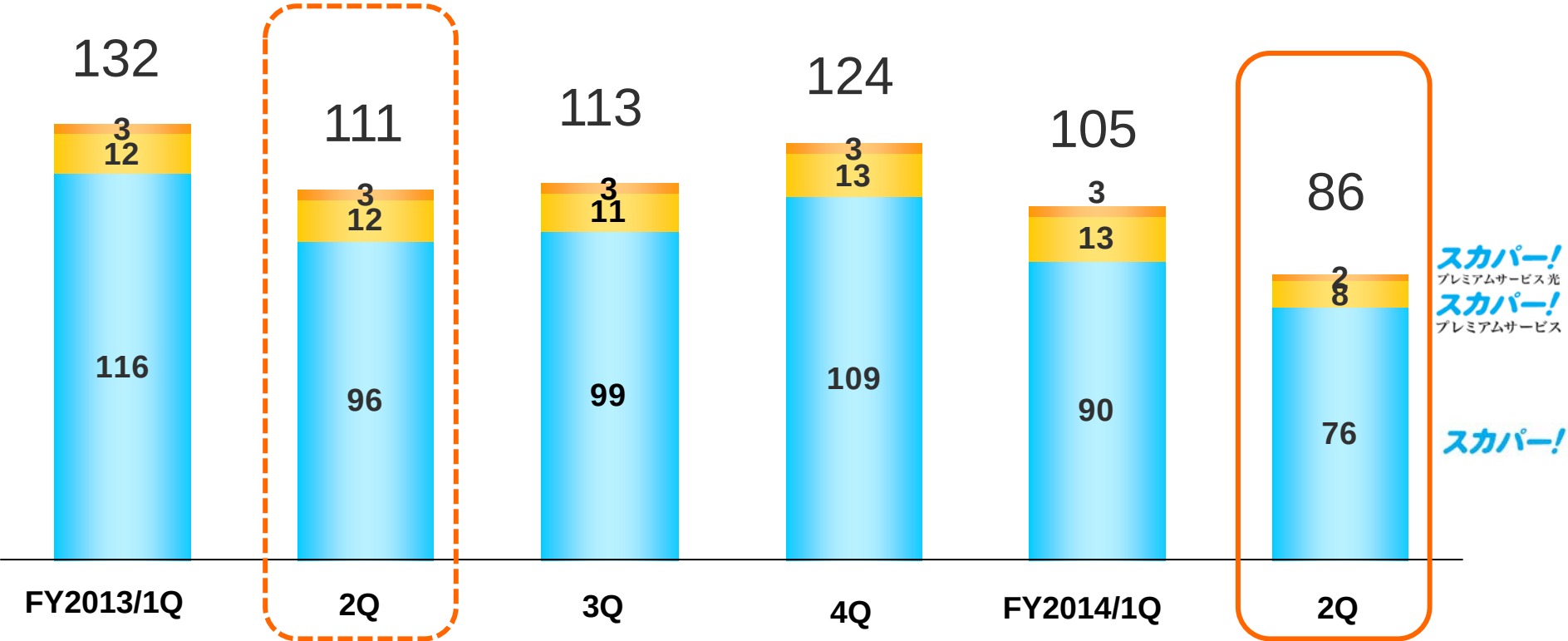
	FY2013/2Q 累計	FY2014/2Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,760	11,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,221	△13,212
フリー・キャッシュフロー (*1)	14,538	△1,846
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,871	△11,545
現金及び現金同等物の期末残高(a)	86,392	50,334
有利子負債期末残高 (*2) (b)	50,740	36,827
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△35,651	△13,506

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー。

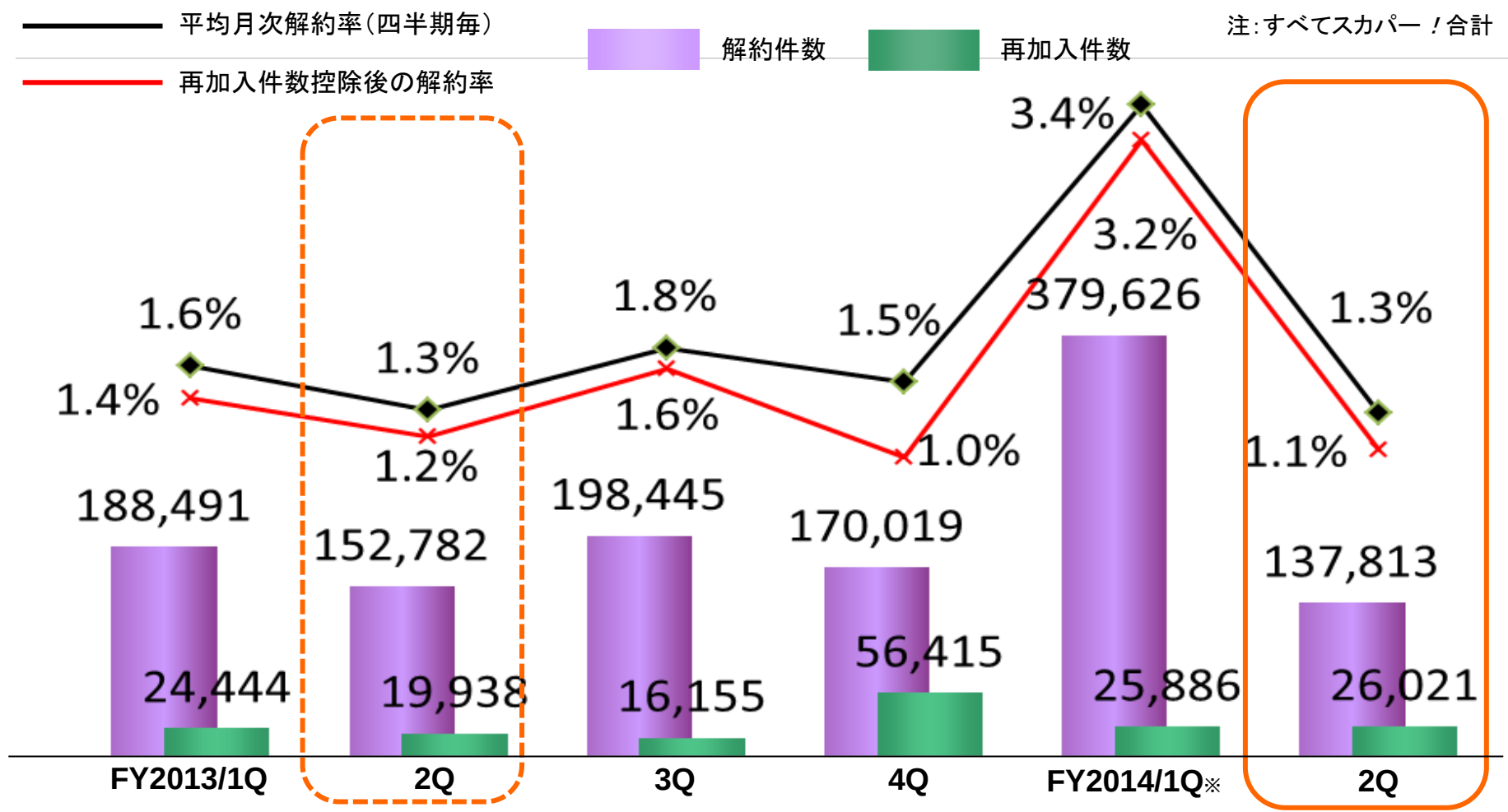
*2. 借入金＋無担保社債。

新規加入件数の推移

(単位: 千件)

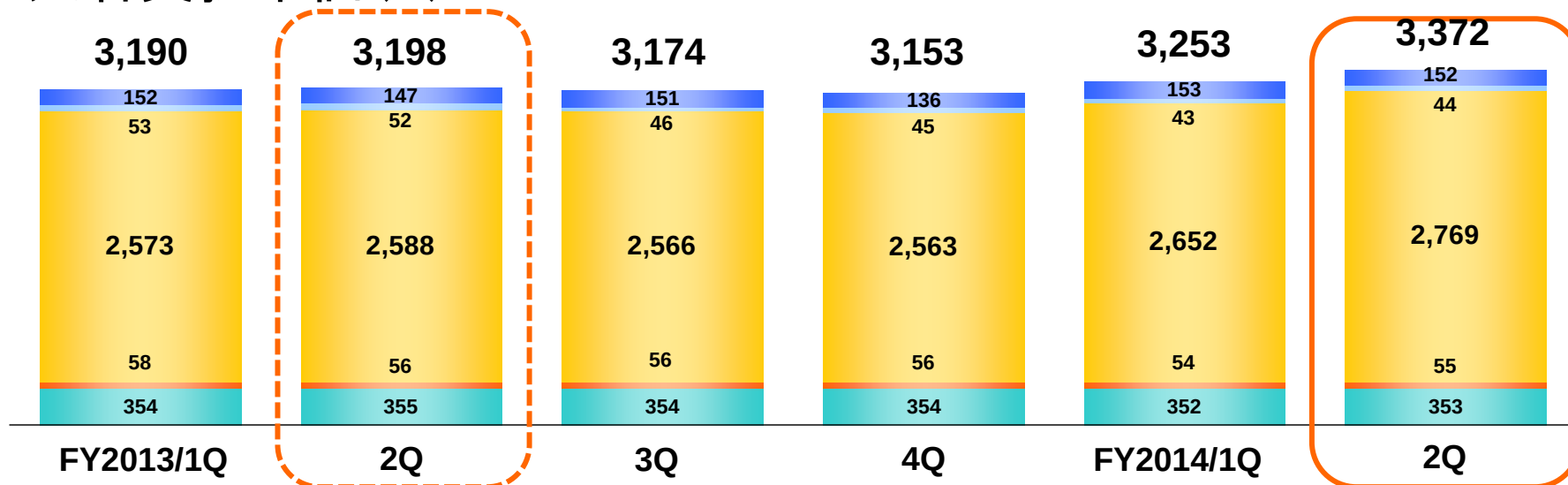


解約率の推移

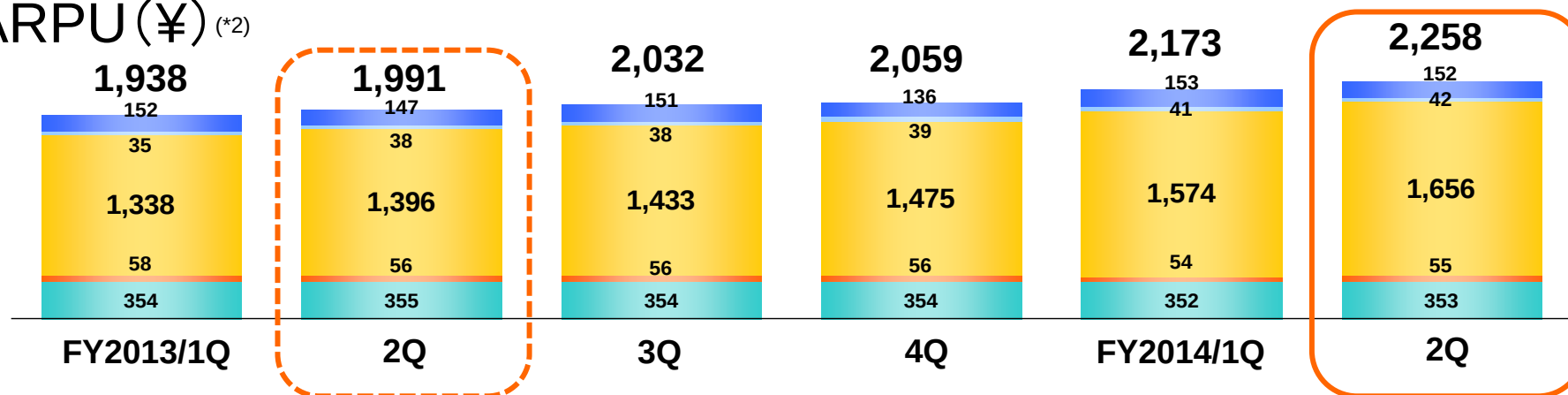


※: FY2014/1Qの解約件数、平均月次解約率、再加入件数控除後の解約率が大幅に増加している理由は、2014年5月末の標準画質サービス終了に伴う解約を含むためです。

■ 加入者支払単価(¥) (*1)



■ ARPU(¥) (*2)



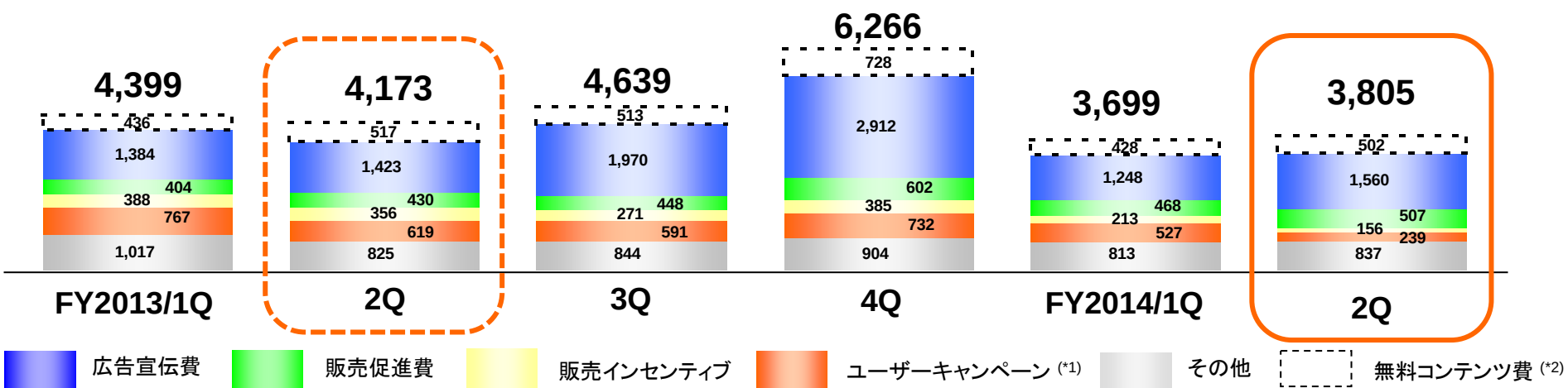
基本料／件 レンタル会費／件 フラット視聴料／件 PPV視聴料／件 自主コンテンツ収入／件

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

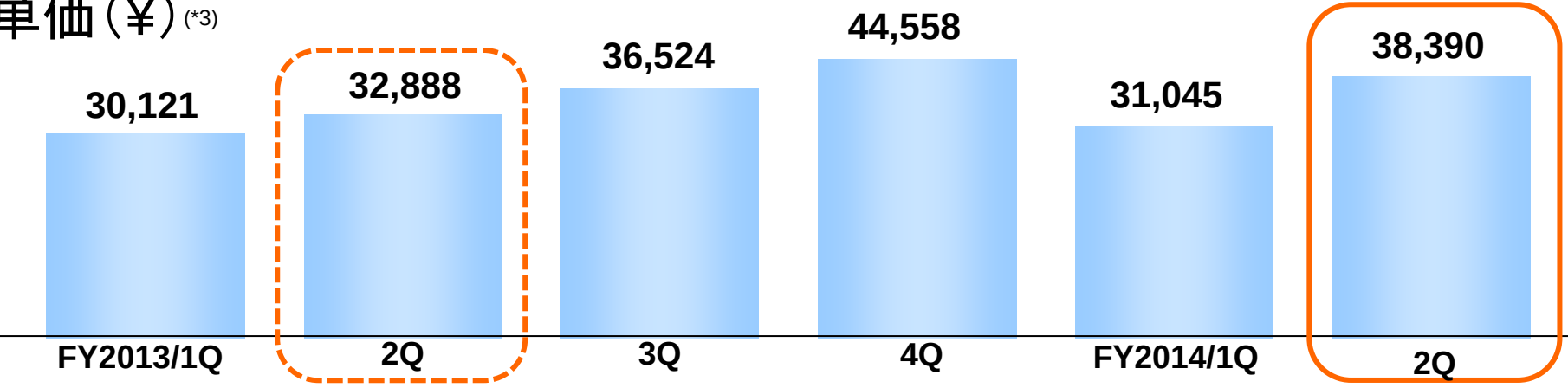
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用
*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。
*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

子会社業績一覧

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPBC	OPTI*	SNET	JII	JMC
事業内容		放送プラットフォーム、衛星通信	顧客管理	放送事業	光ファイバを利用した映像配信	衛星通信回線再販等	衛星通信回線販売	衛星移動通信サービス
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100	53.3
営業収益	FY2013/2Q	62,399	3,921	28,302	5,553	2,081	1,296	830
	FY2014/2Q	64,332	3,741	33,762	-	1,877	1,293	1,145
営業利益	FY2013/2Q	10,450	△268	503	195	241	624	94
	FY2014/2Q	11,883	312	788	-	135	599	89
経常利益	FY2013/2Q	10,650	△266	505	185	232	633	104
	FY2014/2Q	11,954	314	790	-	128	604	96

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

SNET:株式会社衛星ネットワーク

JMC:JSAT MOBILE Communications株式会社

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

OPTI:株式会社オプティキャスト(*4月1日付けでSJCに吸収合併)

JII:JSAT International Inc.

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部